

別紙様式 1

令和3年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ谷 4 5 - 2 2
指定管理者名	株式会社ネオピエント	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	0 8 8 - 6 2 1 - 2 1 3 2

1 施設の概要

設置年月日	平成 1 3 年 7 月 1 日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務。 ②あすたむらんど施設等の維持管理に関する業務。 ③あすたむらんど利用の許可に関する業務。 ④あすたむらんど使用料の徴収に関する業務。 ⑤その他あすたむらんど管理に関し、知事が必要と認める業務。
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 53 名 臨時職員 14 名 計 67 名
	正規職員：53名、臨時職員（パート、非常勤）：14名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	21,646	18,314	12,909	18,314	22,304	19,318	44,139	49,732	91,547	30,642	13,987	29,603	372,455
	前年度	8,420	11,760	10,563	11,079	16,589	23,129	33,323	34,565	61,232	16,393	18,810	25,248	271,111
	前々年度	41,955	59,792	21,462	26,144	48,086	37,621	42,638	42,706	55,738	29,130	21,041	22,028	448,341

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	3,307	1,498	1,754	4,176	6,629	3,197	4,970	5,306	9,502	4,885	1,326	3,907	50,457
	前年度	525	850	1,101	2,102	4,531	3,868	3,840	4,301	8,407	2,185	2,112	4,443	38,265
	前々年度	7,505	9,839	3,838	6,276	15,565	5,644	5,565	4,527	7,577	5,367	3,365	2,161	77,229

施設毎 利用料金収入 (千円)		カレイドシアター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	多目的ホール等	計
	R3年度		22,837	21,439	6,133	48	50,457
	前年度	679	17,973	15,887	3,668	58	38,265
	前々年度	2,524	28,390	35,186	10,979	150	77,229

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		R3年度	R2年度（前年度）	R元年度（前々年度）
収 入	指定管理料	636,072	657,691	668,122
	利用料金収入			
	事業収入	8,648	7,107	14,322
	その他			4,190
	計	644,720	664,798	686,634
支 出	人件費	295,196	124,944	148,305
	管理運営費	349,524	479,424	461,733
	事業費			
	その他		0	61,009
	計	644,720	604,368	671,047
収支		0	60,430	15,587

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・ イベント実施前に、複数の取引先から見積を徴収し、価格交渉を行うことで経費削減に努めている。また、感染症対策備品等の消耗品の購入では、事前に全部門で必要な数量等を取りまとめ、一括購入することでコスト削減を図っている。 ・ 経費支出のPDCAサイクルを職員全体で共有するため、経費管理を行う総務部だけでなく全部門において、光熱水費や消耗品などの固定費について月例会議や担当者会議などとおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 ・ 展示解説、公園等のスタッフの大部分を直接雇用に切替え、運営費を大幅に削減している。 ・ 企業、団体との共催事業を実施しており、経費の削減に努めている。
サービス向上の取組	・ 元JAXAの科学館部員によるリスクアセスメント研修を実施し、低減対策や各自の意識向上に努めている。 ・ 約8割の方がスマートフォンでHPを閲覧していることからスマートフォン対応化とHPのリニューアルを実施。 ・ また、園内各所の消毒作業や屋内施設でのマスク着用呼びかけ、屋内施設での検温機の導入や定期的な換気の実施など、安心・安全に利用できるよう努めている。 ・ HPリニューアルにあわせてWEBでもアンケートを実施できるように改修。コロナ禍でもお客様の意見を数多く集める工夫を実施している。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・ 例年実施している「四国放送まつり」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のフェスティバルイベントにするのではなく、過去に出演したアーティストのインタビュー映像の上映やポスターを掲示したアーカイブ展、デジタルスタンプラリーなど、三密を避けた内容に変更して実施している。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない自主事業もあったが、感染症対策、鑑賞型イベントにアレンジすることでドライブインシアターなど様々な事業を実施している。 ・ とくしまアラートに準じた基準を遵守し、臨機応変に開催日の変更などを行い、イベントを実施している。
----------	--

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	S	HPのリニューアルとスマートフォン対応化を実施。約8割の方がスマートフォンでHPを閲覧していることへ積極的に対応している。 また、リニューアルにより、団体の予約をWEB対応可能にし、24時間申込可能となっている。 冬の期間にイルミネーションを実施し、積極的な宣伝を実施している。 木のおもちゃ美術館より木製のプレートの提供を受け、レストランで周年と合わせた新メニューの提供を実施している。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の体験型のコンテンツを中心とした内容から鑑賞型の内容へと切り替えるなど、すべて中止とするのではなく、感染状況に応じたイベントを検討し、実施している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	修繕等年次計画に基づき修繕を行うとともに、日頃の巡回等により発見した緊急を要する修繕箇所などは、県に報告したのち、修繕を行っている。 また、過去に監査で指摘を受けた事項である費用の支払いについては、経理専用ソフトとエクセルのダブルチェックを実施している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	経費支出のPDCAサイクルを職員全体で共有するため、経費管理を行う総務部だけでなく全部門において、光熱水費や消耗品などの固定費について月例会議や担当者会議などとおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 展示解説、公園等のスタッフの大部分を直接雇用に切替え、運営費を大幅に削減している。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	防火管理者、危険物取扱者などを配置し、安全で適正な業務執行に努めている。 BCPの再整理、SDGs勉強会への参加など、社員教育の拡充に努めている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 ノー残業デーを設けるなど、超過勤務縮減のための取り組みを実施している。 産業医を選任し、衛生委員会を立ち上げ、メンタルヘルス、健康管理、作業環境などの意見交換を実施している。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	インターンシップ制度を設けるなど、職員・スタッフの地元採用に努めている。 業務委託については技術的な制約がある場合を除いて、地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	徳島県各部局、徳島県教育委員会、板野町教育委員会、大塚製薬、とくしまマラソン実行委員会と連携し多種多様なイベントを実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	令和5年度中にBCPを策定できるように計画している。 情報管理に関してプライバシーマークを取得している。 あすたむらんど内の他指定管理者と連携して消防訓練を実施している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	園内の草木をたい肥にして再利用している。 節電、節水、裏紙の再利用など小さな取り組みを大切にしている。 徳島県環境技術センター「水すまし隊」を講師に迎え、SDGsの3項目「6 安全な水とトイレを世界中に」、「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」を推進し、水の大切さを学習できる啓発イベントを行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行っている。 情報公開に関する規程を整備している。 また、業務手法の改善に取り組んでおり、支払い状況の管理方の変更、電子インボイス制度の研修会に参加するなど、知識の吸収にも務めている。
総合評価	A	新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた施設運営ができており、単月の入場者数ではコロナ以前を上回っている月もある。 HPも今の時代に即した形にリニューアルし、利用者の利便性を重要視していることがわかる。 コロナ禍でできることを実践しており、適正な管理運営ができていることを確認できた。

〈評価指標〉 S : 協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A : 概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B : 協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C : 管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

木のおもちゃ美術館とふれあい館以外の施設については、開園20周年を迎え、老朽化が顕著となっており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。

令和3年10月に木のおもちゃ美術館がオープンし、一部の月では入場者数もコロナ以前に近い数値になってきている。しかしながら、新型コロナという外的要因に入場者数が左右されている事実は変わっていない。今後は、感染状況に応じたイベントを臨機応変に実施できるようイベント企画の段階からよりブラッシュアップしていく必要がある。

従業員数が増えたことで社員への情報の周知、教育の徹底が難しくなっている。研修内容も多岐にわたっており、教育制度の充実を図る必要がある。